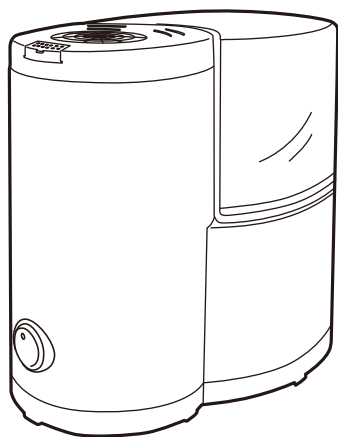


- 業務用として使用しないでください。
- 他の用途で使用しないでください。
思わぬ事故の原因になります。

家庭用

スチーム式加湿器 KS1-A086



もくじ

■安全上のご注意	1～4
■各部の名称とはたらき	5
■使いかた	6～10
■お手入れと保管	11～13
■故障かな?と思ったら	13
■仕様	14
■アフターサービスについて	14
■保証書	裏表紙

この製品は、海外では使用できません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

- このたびは、弊社加湿器をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
- 使用する前に、この取扱説明書を必ずよく読み正しく安全に使用してください。
- 読んだあとは、大切に保管してください。

最新情報はオリジナルブランドページ

YAMAZEN BOOK を
チェック!



随時情報を更新中!

安全上のご注意

ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、必ずお守りください。

※ここに示した項目は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。また、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、軽傷や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



○記号は禁止「してはいけないこと」を表示しています。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は強制「しなければいけないこと」を表示しています。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

※お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。



警告



禁止

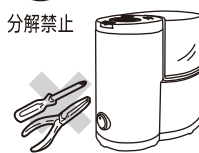
交流100V以外での使用やコンセント・配線器具の定格を超える使いかたはしない

- 延長コードやタコ足配線などで定格を超えると、コンセント部が異常発熱して、発火や火災の原因になります。



分解禁止

修理技術者以外の人、絶対に分解したり修理・改造はおこなわない



- 発火したり、異常動作してけがの原因になります。
- ※修理はお買い上げの販売店へご相談ください。



指示に従う

電源プラグは根元まで確実に差し込む

- 感電や発熱による火災の原因になります。



禁止

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない

- 感電・ショート・発火の原因になります。



ぬれ手禁止

お手入れのときは必ず電源プラグをコンセントから抜くこと。ぬれた手で抜き差ししない

- 不意に動作してやけどをしたり、ショート・感電・けがの原因になります。



指示に従う

包装用ポリ袋はお子さまの手の届かない場所に保管する

- 誤って顔にかぶったり、巻きついたりして窒息する原因になります。



禁止

開口部やすき間にピンや針金、金属物などの異物を入れない



- 感電や異常動作してけがをする原因になります。



指示に従う

定期的に電源プラグのほごりを取る。電源プラグにピンやゴミを付着させない

- ピンやゴミが付着したり、ほごりがたまると、感電・ショート・発火の原因になります。また、湿気などで絶縁不良となり火災の原因になります。
- 電源プラグのお手入れは、乾いた布でふいてください。



警告



電源コードの上に本体をのせたり、挟み込まない

禁止

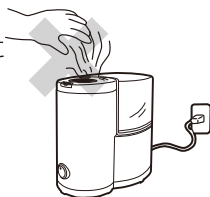
- 電源コードが破損し、ショート・感電・火災の原因になります。



接触禁止

使用中や使用直後はスチーム吹出口などの高温部に触れない。手や顔を近づけない

- やけどの原因になります。



指示に従う

使用中に本体に異常があったり、電源プラグや電源コードが異常に熱くなるときは、直ちに使用を中止する

- 感電や発火の原因になります。



禁止

使用中や使用直後に持ち運んだり、お手入れをしない

- 熱湯がこぼれたり、高温部に触れてやけどの原因になります。
- お手入れなどは必ず本体が冷えてからおこなってください。



水ぬれ禁止

本体や操作部に水や油をつけたり、水をかけたり、丸洗いをしない

- 感電・ショート・火災・故障の原因になります。



禁止

幼児の近くや不安定な場所で使用しない

- 誤って高温部に触れたり、熱湯がこぼれやけどをしたり、転倒してけがや火災の原因になります。



禁止

蒸発皿や水タンクなどのお手入れに塩素系・酸性タイプの洗剤を使用しない

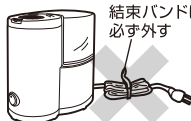
- 有毒ガスが発生し、健康を害する原因になります。



禁止

電源コードを傷つけたり、破損させたり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねて使用したりしない

- また、重いものをのせたり、挟み込んだり、加工したりすると、電源コードが破損し、火災や感電の原因になります。



※結束バンドは必ず外す。



禁止

アロマオイルはアロマオイルケース以外に、絶対に入れたり付着させない

- ひび割れ、破損や熱湯がふきこぼれやけど、けがの原因になります。



禁止

お子さまや取り扱いに不慣れな方だけで使用しない
幼児の手の届く場所で使用したり、保管しない

- 感電・やけど・けがの原因になります。



警告



スチーム吹出口・ダクト・仕切りガイド・水タンクを外したまま使用しない

禁止

●床をぬらしたり、熱湯が飛び散りやけどや故障の原因になります。



水タンクの水は毎日新しく入れ替える

指示に従う

●水を入れ替えないで長期間使用すると、雑菌やカビなどが繁殖し、異臭が発生したり、健康を害する原因になります。



水アカフィルターを取り扱うときは本体が充分に冷めてからおこなう

指示に従う

●熱湯に触れ、やけどの原因になります。



指示に従う

排水するときは、スチーム吹出口、ダクト・仕切りガイドなどを外し排水方向に従って排水する

●排水方向を間違えると本体内部の電気部品に水が入り、火災・感電・ショートの原因になります。



禁止

電気製品や精密機器（パソコン）などの近くでは使用しない

●電気製品が加湿によって湿気をおびたり、転倒によって浸水するとやけど・感電・故障・発火の原因になります。



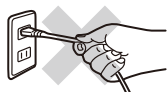
注意



指示に従う

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず先端の電源プラグを持って引き抜く

●感電やショートして発火することがあります。



プラグを抜く

長時間使用しないときや使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜いて排水しておく

●絶縁劣化による感電や漏電により火災・やけど・けがの原因になります。



禁止

水タンク内にお湯（40℃以上）や氷水、化学薬品、汚れた水、芳香剤、アロマオイルを入れて使用しない

●故障の原因になります。
※必ず水道水を使用してください。



禁止

水のないときや本体を倒した状態では絶対に使用しない

●やけどや故障の原因になります。



禁止

この加湿器は室内（居住空間）の加湿専用です。これ以外の目的では使用しない

●漏電・火災・感電・やけどなどの原因になります。



指示に従う

寒冷地などで凍結のおそれのあるときは、水タンクと水槽内の水を捨てる

●水タンクが割れたり、故障の原因になります。



禁止

スチーム吹出口をふさがない

●紙や布などでふさぐと変形や故障の原因になります。



禁止

湿度の高い（70%以上）所では使用しない

●家具や床を湿らせたりぬらす原因になります。



禁止

熱に弱い敷物やテーブル・台の上では使用しない

●本体底部の熱により変色したり、変形の原因になることがあります。



禁止

本体の上に腰をかけたり、足をのせたりしない

●水がこぼれたり、破損の原因になります。



禁止

直射日光が当たる場所や暖房機器の上や近くなど温度が高くなる場所に本体を設置しない

●プラスチック部分が変形・変質することがあります。
●水漏れの原因になります。

⚠ 注意



本体内部には直接給水をしない

- ショートや感電の原因になります。

禁止



お手入れはこまめにおこなう

- 蒸発皿に水アカなどが付着したまま使用を続けると、加湿量の低下や、故障の原因になります。

指示に従う



電源コードを持って本体を引きずらない

- 故障や事故の原因になります。

禁止



本製品は一般家庭用です。絶対に業務用に使用しない

- 本製品に無理な負担がかかり、火災・事故・故障の原因になります。

禁止



掃除用・整髪用・殺虫剤などのスプレーを吹きつけない

- 変質・破損などによりけが・事故の原因になります。

禁止



移動や持ち運びのときは注意をする

- 落下するとけがの原因になります。また、引きずって移動などをおこなうと畳や床などに傷をつける原因になります。

指示に従う



本製品は屋内専用です。絶対に屋外で使用しない

- 屋内での使用に基づき設計されています。屋外で使用すると、故障・漏電・火災・事故の原因になります。

禁止



お手入れにはシンナー・ベンジン・みがき粉・たわし・化学ぞうきん類は使用しない

- 製品の変質や劣化による破損・故障・けが・事故の原因になる場合があります。

※お手入れは水またはぬるま湯か、薄めた台所用中性洗剤を含ませたふきんで汚れをふき取ってください。

禁止

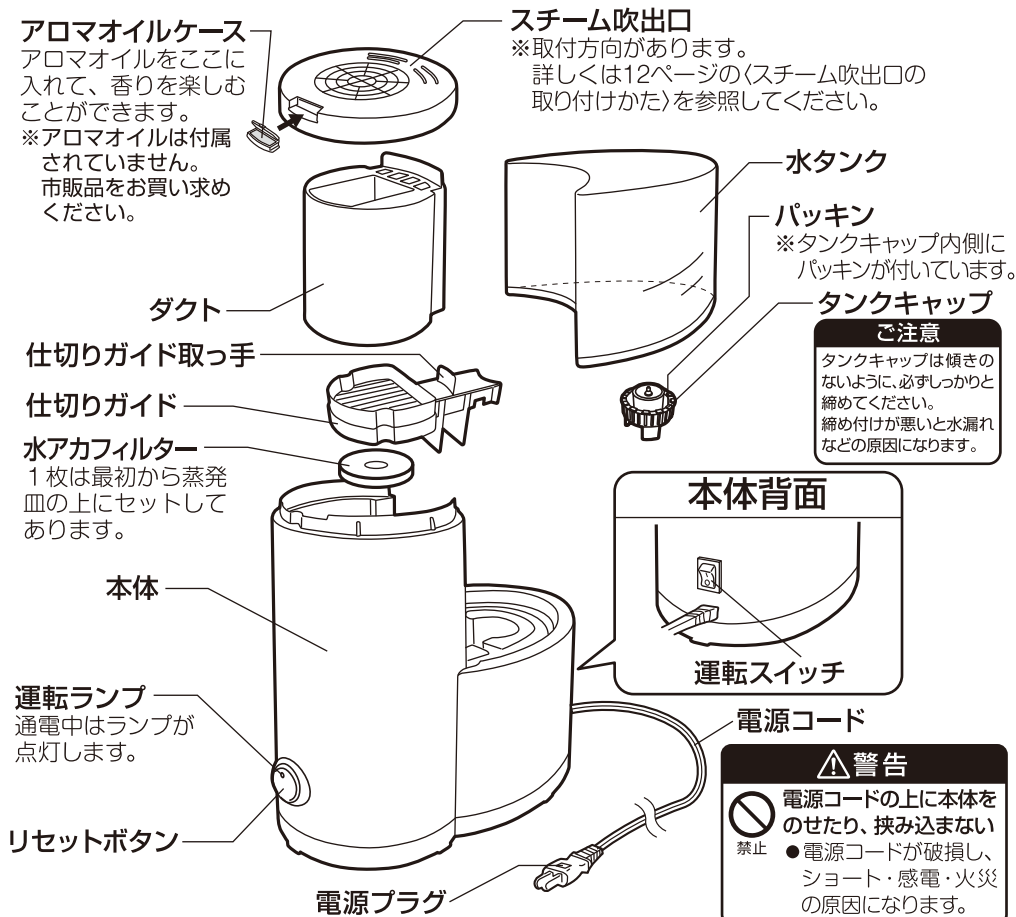


必ずお守りください

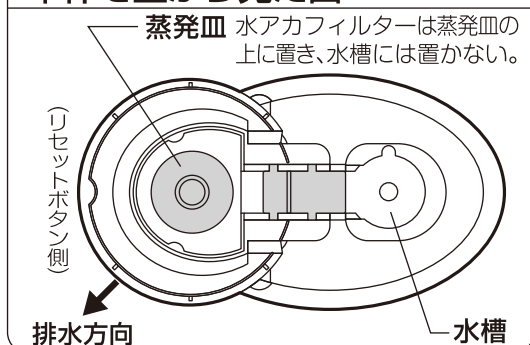
水を沸騰させて蒸気（スチーム）を発生させています。やけどをしないために次のことを必ず守ってください。

- 幼児の手の届く所では使用しない。
- 倒れると危険ですので、不安定な場所では使用しない。
- スチーム吹出口から熱湯が飛び散る場合がありますので、手や顔を近づけない。

各部の名称とはたらき



本体を上から見た図



付属品

水アカフィルター (消耗品)
(交換用1枚)

掃除用ブラシ (1本)
※水槽や蒸発皿などの
お手入れに使用します。

水アカフィルターとは

水道水に含まれている鉄分
やカルシウムなどを吸着し、
蒸発皿やダクトにつく水アカ
を減らします。



お知らせ 検査のために使用した水が、製品に付着している場合がありますが、品質やご使用上、影響はありません。
気になる場合は、ゆすいだり、ふき取ってください。

●本書は、イラストを用いて説明しています。実際の製品とは、多少異なることがあります。

使 い か た

ご使用にあたってのお願い

水を入れた水タンクを本体にセットして運転スイッチを「入」にしても、運転ランプ（緑色）が点灯しない場合があります。
点灯しない場合は本体をささえ、運転ランプが点灯するまでリセットボタンを強く押してください。



1 平らな安定した場所に置きます

警告



幼児の近くや不安定な場所で使用しない

- 誤って高温部に触れたり、熱湯がこぼれやけどをしたり、転倒してけがや火災の原因になります。

ご使用上の注意

■正しい置き場所

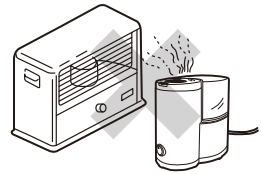
スチーム吹出口から上方1m以内に蒸気をさせざるものがなく、壁、家具などの変形、シミ防止のため、周囲との距離が充分にとれる、安定した水平な場所に置いてご使用ください。

■良くない置き場所

特に注意していただきたい置き場所

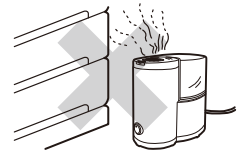
●直射日光が当たる場所や暖房機器の上や近くなど温度が高くなる所

プラスチック部品が変形・変質したり、水タンク内の空気が膨張し水タンクから水が押し出され、規定以上の水が蒸発皿に流れ込み、ご使用中に蒸発皿から熱湯があふれるなどして水タンクの変形や水漏れなどの原因になります。



●スチームが直接、家具、壁、カーテン、天井や紙類(ふすま・書物・ポスターなど)にあたる所

家具などにシミや変形ができたり、故障の原因になることがあります。(特に高級家具などがある場所でご使用の場合はご注意ください)



●傾いた場所・不安定な場所・電気製品や精密機器(パソコン)などの近く

電気製品が加湿によって湿気をおびたり、転倒すると熱湯がこぼれ、やけど・感電・故障・発火の原因になります。



使 い か た つ き

ご 注 意

※水タンクを取り外したりセットするときは、必ず運転を停止し電源プラグをコンセントから抜いて本体が充分冷めてからおこなってください。

2 水タンクに水を入れます

タンクキャップを外し水タンクの中に水道水を入れます。水を入れたら、タンクキャップをしっかり締めます。

△ 注意



水タンク内にお湯(40℃以上)や氷水、化学薬品、汚れた水、芳香剤、アロマオイルを入れて使用しない

●故障の原因になります。※必ず水道水を使用してください。



タンクキャップ

ご使用上の注意

- ※タンクキャップを締め付ける前にタンクキャップの内側にパッキンが付いていることを確認してください。パッキンが取り付けられていないと水漏れの原因になります。
- ※タンクキャップは傾きのないように、必ずしっかりと締めてください。タンクキャップを締め付けたあとに、タンクキャップを下側にして水タンクを2～3回軽く振り、水タンクから水漏れがないか必ず確認をしてから本体にセットしてください。タンクキャップの締め付けがゆるかったり、傾いて締め付けられたりしていると、水タンクから水漏れすることがあります。
- ※水タンクや水槽に異物(ヘアピン・マッチ棒・クリップなど)を入れないでください。故障の原因になります。

3 水タンクを本体にセットします

- このとき水タンク内の水が、本体の水槽に流れ込んでいるかを一度水タンクを持ち上げ確認します。

ご使用上の注意

- ※水タンクを本体にセットするとき、勢いよく置かないでください。破損や故障の原因になります。
- ※水槽への直接給水はしないでください。



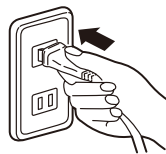
- 水タンクをセットする前に、必ず水アカフィルター、仕切りガイド、ダクトが正しくセットされていることを確認してください。
- 水タンクは一度セットしたあと、何度も持ち上げることはしないでください。
- 連続してご使用される場合は、水槽や蒸発皿に水が残っていますので水タンクをセットする前に残っている水を排水してください。規定以上の水が蒸発皿に流れ込み、ご使用中に蒸発皿から熱湯があふれるなどして水タンクの変形や水漏れなどの原因になります。

使 か た っ ぎ

4 結束バンドを必ず外してから電源プラグをコンセントに差し込みます

ご使用上の注意

- ※電源コードをたばねたまま使用しないでください。
- ※運転スイッチが「切」になっているのを確認し、電源プラグをコンセントに根元まで確実に差し込んでください。
- ※水のないとときや本体を倒した状態では絶対に通電しないでください。やけどや故障の原因になります。



5 本体背面にある運転スイッチを入れ運転ランプが点灯したことを確認します

運転スイッチを「入」にすると、運転ランプが点灯し、約3～5分後にスチーム吹出口からスチームが出ます。

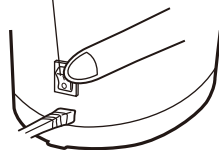
警告



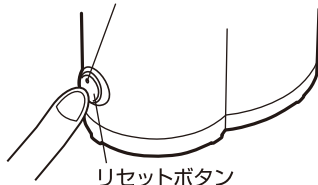
使用中や使用後はスチーム吹出口などの高温部に触れない。手や顔を近づけない
接触禁止 ● やけどの原因になります。

※運転ランプが点灯しないときは、一度リセットボタンを押します。

運転スイッチ



運転ランプ



リセットボタン

ご使用上の注意

- ※運転中に本体内側や水タンクに水滴が付着することがありますが、蒸発皿から発生する蒸気、または室内との温度差による結露によるもので異常ではありません。
- ※室内の温度や湿度の状況により吹出すスチームが少なく見えることがありますが故障ではありません。
- ※水の入った水タンクを本体にセットしたまま持ち運ばないでください。
移動のとき、規定以上の水が蒸発皿に流れ込み、ご使用中に蒸発皿から熱湯があふれるなどして水タンクの変形や水漏れなどの原因になります。加湿器を移動されるときは、必ず本体から水タンクを外して持ち運んでください。（水タンクをセットする前に、本体に残っている水を一度排水してください）
- ※水タンクを本体にセットするときは、水タンクの浮き、傾きなどないよう確実にセットしてください。
本体に水タンクをセットしたとき、水タンクに浮き、傾きなどがあると使用中に水タンクから水が流れなくなり、サーモスタットが動き加湿しなくなる場合があります。このような場合は水タンクを再度セットし直して、水が水槽から蒸発皿へ流れているか確認し、リセットボタンをしっかりと押してください。
- ※必ず水の入った水タンクを本体にセットしてから電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- ※加湿をしすぎないでください。加湿しすぎると結露などで室内をぬらしたり故障の原因になります。

6 水タンクの水がなくなると

水タンクの水がなくなるとサーモスタットが動き運転を自動的に停止します。

- 運転ランプが消灯します。

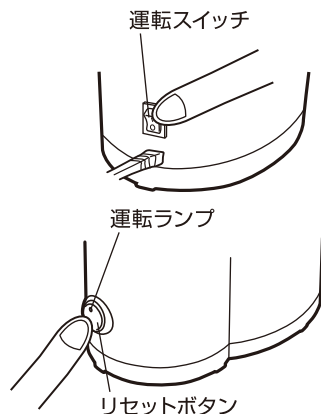
使 い か た つ ぎ

7 続けて運転する場合

運転スイッチを「切」にして、水タンクに水を給水してから本体へセットし、運転スイッチを「入」にしてリセットボタンを押します。運転ランプが点灯して、ふたたび運転を再開します。

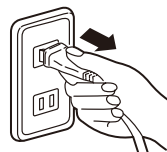
ご使用上の注意

※リセットボタンを押しても運転ランプが点灯しなかったり、点灯してもしばらくして消灯してしまう場合は、給水した水タンクをセットし直し、蒸発皿が充分冷めてから（5～10分）もう一度リセットボタンを押してください。
〈強く押さないと点灯しない場合があります〉



8 ご使用後は電源プラグをコンセントから抜きます

- 運転スイッチを「切」にしてから電源プラグを抜きます。
- 本体が充分に冷めたあと、水アカの固着防止のため排水をします。



⚠ 注意



長時間使用しないときや使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜いて排水しておく

- 絶縁劣化による感電や漏電により火災・やけど・けがの原因になります。



寒冷地などで凍結のおそれのあるときは、水タンクと水槽内の水を捨てる

- 水タンクが割れたり、故障の原因になります。

ご使用上の注意

※長時間で使用にならないときは、水タンクと水槽内の水は必ず排水してください。そのまま放置しておくと水漏れやカビの発生、異臭の原因になります。

■ 水タンク内の水が凍結するおそれがあるとき

- 水タンク内の水が凍結するおそれがあるときは、水タンク内の水を捨てます。万一凍結したときは、熱湯を注いだり他の熱源を近づけたりせず、常温で自然に溶かします。

使 用 法

アロマオイルケースについて

アロマオイルをご使用のときは、下記のことに充分注意してください。

警告

アロマオイルはアロマオイルケース以外に、絶対に入れたり付着させない。

ひび割れ、破損、やけどの原因になります。

※アロマオイルをアロマオイルケース以外（水タンクなど）に入れたり付着させると、プラスチックが変質して変形したり、ひび割れや破損する原因になります。

※蒸発皿にアロマオイルが入ると熱湯がふきこぼれ、やけどやけがをする原因になります。

※アロマオイルが蒸発皿に入ってしまった場合は、すぐに運転を停止し、本体を冷ましてから一度水を排水し、アロマオイルが残らないようにお手入れをしてください。

ご使用上の注意

※アロマオイルの中には通経作用のあるものがありますので、妊娠中の方がご使用される場合は、特にご注意ください。

※アロマオイルをご使用のときは、必ずご使用されるアロマオイルの取扱説明書などの注意書きをよくお読みの上、ご使用ください。

1 スチーム吹出口からアロマオイルケースを取り外す

- アロマオイルケースをスチーム吹出口から引き抜いて取り外してください。

警告

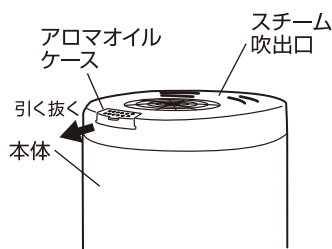


使用中や使用直後はスチーム吹出口などの高温部に触れない。手や顔を近づけない

接触禁止 ●やけどの原因になります。

ご使用上の注意

- ※本体が十分に冷めたのを確認してから、スチーム吹出口からアロマオイルケースを取り外してください。

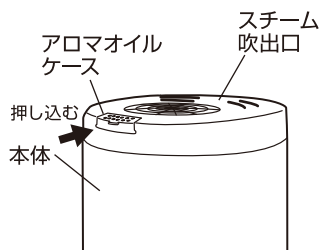


2 アロマオイルをアロマオイルケースに入れる

- アロマオイルは2～3滴程度を目安に入れてください。
- ※アロマオイルは入れ過ぎないように注意してください。
- ※アロマオイルは、市販品をお買い求めください。

3 アロマオイルケースをスチーム吹出口に取り付ける

- アロマオイルケースをスチーム吹出口に奥までしっかり押し込んで取り付けてください。



お手入れと保管

水アカを放置すると固着して取れなくなりますので、水タンク・ダクトなどの各部品を取り外し、こまめにお手入れをしてください。

警告



お手入れのときは必ず電源プラグをコンセントから抜くこと。ぬれた手で抜き差ししない

- 不意に動作してやけどをしたり、ショート・感電・けがの原因になります。



本体や操作部に水や油をつけたり、水をかけたり、丸洗いをしない

- 感電・ショート・火災・故障の原因になります。



注意



お手入れにはシンナー・ベンジン・みがき粉・たわし・化学ぞうきん類は使用しない

- 製品の変質や劣化による破損・故障・けが・事故の原因になる場合があります。
- ※お手入れは水またはぬるま湯か、薄めた台所用中性洗剤を含ませたふきんで汚れをふき取ってください。



掃除用・整髪用・殺虫剤などのスプレーを吹きつけない

- 変質・破損などによりけが・事故の原因になります。

ご注意

※お手入れのときや水タンク・ダクトなどの各部品を取り外したりセットするときは、必ず運転を停止し電源プラグをコンセントから抜いて、本体が充分冷めてからおこなってください。

※お手入れのときは、けがをしないように充分注意しておこなってください。

(けがをしないようにゴム手袋などを着用する)

※お手入れのあとは、水タンク・ダクトなどの各部品を正しくセットしてください。

お手入れ

お手入れに関するお願い (必ずお守りください)

この加湿器は水を加熱して発生した蒸気(スチーム)で加湿します。

水を加熱することで水道水に含まれているカルシウムなどのミネラル分が水アカとなって蒸発皿に付着しますので、必ずこまめにお手入れをしてください。

水アカを放置すると固着して取れなくなり、加湿量が低下したり、内部の温度が上がり安全装置が働いたり、蒸発皿取付部に水アカが浸入し水漏れなどの原因になります。

次の要領でいつもお手入れをおこないます。

■本体

- 水またはぬるま湯に浸した柔らかいふきんをよくしぼって汚れをふき取ります。落ちにくい汚れは、薄めた台所用中性洗剤を含ませた柔らかいふきんで汚れをふき取り、さらに乾いた柔らかいふきんで洗剤が残らないようきれいにふき取ります。
- 本体の丸洗いは絶対におこなわない。

■水タンク (毎回)

- タンクキャップを外し、水タンク内に水を半分くらい入れ、タンクキャップをしっかりと締めて水タンクを軽く振り、水を排水します。(2~3回繰り返してください)
- お手入れのあとは外側の水気をきれいにふき取ります。

パッキン



タンクキャップ

ご使用上の注意

※タンクキャップのパッキンが外れたときは、元どおりに取り付けてください。(水漏れの原因)

※ご使用後や給水時に水タンクを持ち上げたとき、タンク底面についた水滴が滴下することがあります。水タンクを持ち上げるときや持ち運ぶときは床などをぬらすおそれがありますのでご注意ください。

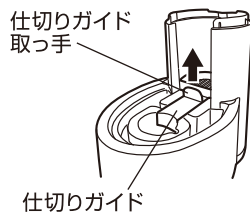
お手入れと保管 つづき

■ スチーム吹出口・ダクト・仕切りガイド (1週間に1回以上)

- 付着している水アカなどを、水洗いしながら柔らかいふきんで汚れをふき取ります。

〈仕切りガイドの取り外しかた〉

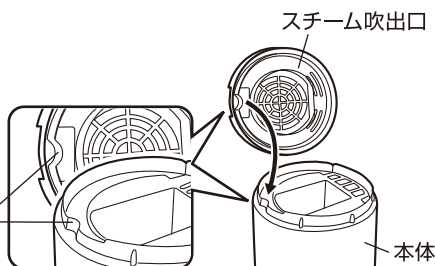
- 仕切りガイド取っ手を指でつまんで、上に引き上げて取り外します。(右図参照)



〈スチーム吹出口の取り付けかた〉

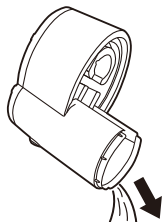
- スチーム吹出口は**取付方向**があります。右図のようにそれぞれの凹み部分の位置を合わせて取り付けてください。位置が合っていないと、しっかり取り付けができません。

スチーム吹出口と本体の凹み部分を合わせる



■ 本体内・水槽・蒸発皿 (1週間に2回以上)

- 水タンクを外し、スチーム吹出口・ダクト・仕切りガイド・水アカフィルターを外します。(本体に指示してあります排水方向に傾け排水してください)
- 付属の掃除用ブラシ、または水に浸した柔らかいふきんをよくしぼって蒸発皿や水槽、本体内側の汚れをふき取ります。



水アカは放置すると固着して取れなくなります。必ずこまめにお手入れしてください。

⚠ 警告



蒸発皿や水タンクなどのお手入れに塩素系・酸性タイプの洗浄剤を使用しない

- 有毒ガスが発生し、健康を害する原因になります。

禁止

— ご使用上の注意 —

- ※ お手入れ中は、水槽・蒸発皿に水をいっぱいに入れないでください。本体内部に水が入り故障の原因になります。
- ※ 蒸発皿は、金属ブラシなどのかたいものでこすらないでください。傷がつき故障や腐食の原因になります。

ワンポイントアドバイス

■ 蒸発皿の水アカ(カルキ)がお手入れしてもきれにならない場合

酢かレモン果汁20mL(小さじ約4杯)を混ぜた水(800mL)、またはクエン酸5g(小さじ約1杯)を混ぜた水(800mL)を水タンクに入れ約15分運転し、本体が充分冷めてからお手入れをしてください。

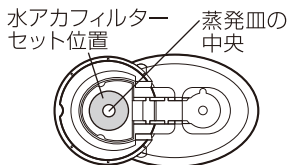
※ 下記内容に充分注意してください。(蒸発皿の表面が傷む原因になります)

- 濃度を濃くしない
- 15分以上運転しない
- 酢・レモン果汁・クエン酸でのお手入れを頻繁にしない

お手入れと保管 つづき

■水アカフィルター（1週間に1回以上）

- 水アカフィルターは1週間（1日約13時間使用したとすると）に1回以上は手揉み洗いをし、よく乾かしてから軽く揉みほぐし、水アカをはらい落とします。
- 水アカフィルターは消耗品です。交換時期は、お手入れしても汚れが落ちなかったり、フィルター内部に水アカが残りがたくなったり、破れた場合は交換してください。



⚠警告



水アカフィルターを取り扱うときは本体が十分に冷めてからおこなう

- 熱湯に触れ、やけどの原因になります。

指示に従う

■ご使用上の注意

- ※水アカフィルターを取り出すときは、本体が充分冷めたのを確認し、スチーム吹出口・ダクト・仕切りガイドを外して排水したあと、本体を逆さまにして軽く振って取り出してください。
- ※水アカフィルターをセットするときは、水が入っていない状態で蒸発皿に水アカフィルターを落としこんで入れてください。

※お手入れのあとは、水分をきれいにふき取ってください。水アカフィルター・仕切りガイド・ダクト・スチーム吹出口が正しくセットされていることを確認してからご使用ください。

■保 管

- お手入れしたあとよく乾燥させ、包装ケースに納めるかポリ袋をかぶせ、直射日光や湿気を避けて保管します。（湿ったまま保管するとカビの発生や異臭・故障の原因になります）
- 特に蒸発皿の水アカは充分除去します。（金属物で蒸発皿の表面をこすらない）

故障かな?と思ったら

次の点検をおこなってください。

症 状	原 因	処 置
スチームが出ない 出方が少ない	●水タンクの水がなくなっていますか？	●水タンクに水を給水してください。
	●室内の温度が高かったり、湿度が低い状態ではありませんか？	●室内の温度や湿度の状況によって見えにくい場合があります。
	●蒸発皿が汚れていませんか？	●お手入れをしてください。
運転しない	●電源プラグがコンセントから抜けていませんか？	●電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
電源プラグが 異常に熱くなる	●コンセントの刃受け部がゆるくなっていますか？	●コンセントをお調べください。
	●タコ足配線や延長コードを使用していますか？	●延長コードやコンセントの定格以内でご使用ください。

点検のお願い

安全に長くご愛用いただくために、日頃から点検をおこなってください。

★こんな症状はありませんか？

- 運転スイッチを入れても動かないことがある。
- 電源コードの被覆が破れている。
- 電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
- 電源プラグや電源コードが異常に熱い。
- 本体が異常に熱かったり、こげくさいにおいがする。
- 運転中に異常な音や振動がする。
- 水漏れする。
- その他の異常がある。

- 電源プラグやコンセントにほこりやごみがたまっている。

★異常があれば

ご使用中止!!

故障や事故防止のため、運転スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

ほこりやごみを取り除いてください。

仕 様

電 源	交流100V 50-60Hz
消 費 電 力	160W
製 品 寸 法 (約)	幅:120mm × 奥行:215mm × 高さ:200mm
製 品 質 量 (約)	860g
コ ー ド 長 (約)	1.8m
水 タ ン ク 容 量 (約)	800mL
※加 湿 量 (約)	(最大) 200mL/h
※適 用 床 面 積 の 目 安	木造和室:約3畳 プレハブ洋室:約6畳
※連 続 使 用 (加 湿) 時 間 (約)	4時間 (室温・湿度により連続加湿時間は変わります)
安 全 装 置	空焚き防止機能 (手動復帰式サーモスタット) 温度ヒューズ

※製品の仕様や外観などは改善などのため予告なく変更する場合があります。

※本製品の加湿能力について (仕様欄の※印)

加湿量、適用床面積、連続使用 (加湿) 時間につきましては、室温20℃・湿度40~60%の条件の基で測定した値を表示しています。製品の加湿能力は部屋の温度・湿度、部屋の構造・材質、使用されている暖房機器などの影響で変化します。ご使用される条件によっては表示値に対して差異が生じることがあります。

■電気代について

1時間あたり 約4.3円

※電気代は、電気料金目安単価 27円/kWhを基に算出しています。

アフターサービスについて

●本製品は、保証書が付いています。

お買い上げの際に、販売店より必ず保証欄の「お買い上げ年月日」と「販売店印」の記入を受けてください。

●保証期間は、お買い上げ日より1年です。

保証期間中の修理は、お買い上げの販売店に依頼してください。

保証書の記載内容により、修理いたします。その他詳細は、保証書を参照してください。

※ただし水アカフィルターは、消耗品ですので水アカフィルターの注文は、保証期間内でも有料とさせていただきます。

●保証期間経過後の修理 (有料) については、お買い上げの販売店に、依頼してください。

●本製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために、必要な部品です。

●消耗品 (水アカフィルター) の購入については、お買い上げの販売店か下記に記載の連絡先までお問い合わせください。

水タンクなどのサービスパーツについては、お買い上げの販売店に、お問い合わせください。

■消耗品

品名: 山善 スチーム式加湿器用
交換用 水アカフィルター (3枚入)
品番: PB-516F-3P

※販売店で購入するときは、上記内容をお伝えいただけますようお願いいたします。

■使いかたやお手入れなどのお問い合わせは下記へ

本製品についての取り扱いや、お手入れ方法のお問い合わせ、転居されたり贈答品などで、販売店に修理の依頼ができない場合は、右記へお問い合わせください。

「山善 家電お客様サービス係」
ナビダイヤル  0570-077-078

※PHS、IP電話など一部の電話からは、利用できません。
受付時間: 10:00~17:00 (土、日、祝日を除く)

FAXまたはEメールでのお問い合わせも受け付けています。
その際は、製品名、品番、お問い合わせ内容、お名前、電話番号を記入のうえ、お問い合わせください。

●FAXでのお問い合わせは  0120-680-287

●Eメールでのお問い合わせは info_m@yamazen.co.jp

※お問い合わせのときは、保証書に記載の製品名、品番をお知らせください。

個人情報の取り扱いについて

株式会社 山善およびその関係会社は、お客様の個人情報やお問い合わせ内容を、お問い合わせへの対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

S-220607